

令和 7 年

第 1 回 教育委員会 定例会

議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和7年 第1回 定例・臨時委員会 議事録			
委 員 会 日 程			会 場
開会日時	令和7年1月28日 午前・ <u>後</u> 2時00分		佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室
閉会日時	令和7年1月28日 午前・ <u>後</u> 3時7分		
延会日時	令和 年 月 日 午前・後 時 分		
出 席 者		欠 席 委 員	会 議 録 署 名 委 員
教育長 香遠 正浩			加藤 雄一郎
1 番委員 加藤 雄一郎			後藤 まき子
2 番委員 瀧川 紀子			
3 番委員 岩崎 奈美			
4 番委員 後藤 まき子			
議 案 説 明 の た め 出 席 し た 職 員			
教育次長 鈴木健一郎 教育次長補佐 兼社会教育課長 市橋 秀紀 教育次長補佐 兼教育総務課長 柳澤 正二 教育総務課 課長補佐 若林 昭宏 学校教育課 課長 管理主事 世界遺産推進課 文化財保護係長 渡邊 一哉 本間 智英 坂下 肇			
傍 聴 人	有・ <u>無</u>		
報告の 要旨	「議事の概要」のとおり		

会 議 で 行 っ た 選 挙 の 結 果		
なし		
会 議 に 付 議 し た 事 件 の 題 目		
議案第1号	佐渡市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処理について	
報告事項	1 学校情報について 2 令和7年度教育行政方針について 3 その他	
次回会議開催日		
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数		
なし		
請願、陳情	有・ ☒ 無	有の場合、別紙のとおり
その他必要と認めた事項		
特になし		

【議事の概要】

・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長	◎本定例教育委員会は、午後２時００分から開催した。 ・ただ今から令和７年第１回佐渡市教育委員会定例会を開催いたします。 ・はじめに、日程第１「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は、佐渡市教育委員会会議規則第１８条の規定により、加藤委員と後藤委員の２名を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。 ・次に日程第２議案第１号から報告事項１については、「個人情報に関する内容が含まれていること」から、佐渡市教育委員会会議規則第７条の規定により秘密会としたいので、これに賛成の方は挙手をお願いします。 ・全員挙手。 ・全員一致ですので、議案第１号から報告事項の１までを秘密会とすることといたします。
・香遠教育長 ・柳澤教育総務課長	【秘密会】 ・議案第１号「佐渡市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処理について」 【以上の議案については、質疑を経て原案どおり承認された。】 ・報告事項１「学校情報について」 【以上の報告については、質疑を経て終了した。】 ・次に報告事項２「令和７年度教育行政方針について」ですが、事務局の説明を求めます。柳澤教育総務課長。
・鈴木教育次長	【説明要旨】 ・初めに私から今後のスケジュールを説明いたします。２月１６日までパブリックコメントの意見を受付している、佐渡市教育振興基本計画にある６つの基本計画を中心とする新年度の施策を載せた教育行政方針案がまとまりますので、本日、教育委員の皆様にお示しし、ご意見を伺えればと思います。 ・今後の予定ですが、この定例会で再度皆様からご確認いただき、ご意見以外にもお気づきの点等がございましたら、２月７日（金）までにご連絡いただきまして、それらを確認、反映したものを２月の定例会にてご協議いただき、最終と思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。 ・意見等の様式については、本日、終了後にメール等で皆様にお届けしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 【説明要旨】 ・私から行政方針案について説明します。内容につきましては、教育行政ですので、大きく変わるものではなく、現行の教育行政方針に基づきながらも、先般の教育振興基本計画ですとか、昨今の状況等もふまえて必要な部分を修正したり、活用したり、追記したりしております。主なところだけ簡単に説明いたします。 ・まず、はじめにですが、２ページ目をご覧ください。令和５年度からスタートした「佐渡市地域クラブ活動」の一層の推進、そして離島である佐

渡市で生まれ育つ子どもたちが、佐渡だからこそできる充実した様々な体験や経験を積み重ねて自分のよさや可能性を認識できる機会の充実を図っていくということにしていると同時に、その下にあるように子どもから高齢者までの様々な世代の市民が、生涯にわたって意欲的に学び続けられるよう、世界文化遺産をはじめとする多様な歴史・文化・自然について学べる学習機会の充実を関係部署等と連携して取り組んでいきますという形にしています。

- ・ これは教育基本振興計画でも言及していますが、来年度からスポーツ・文化また、博物館やジオパーク等の業務が市長部局に移管されますが、必要なことについては今後も連携して取り組んでいくという主旨であります。
- ・ 次に3ページの基本目標1、学力のところですが、中段の、また昨年度よりというところですが、中学校に昨年度導入したA Iドリル授業支援ソフトの効果的な活用を進めていくこと、また現在使われている1人1台タブレットが令和7年度末に更新時期を迎えるため、来年度の当初予算に更新のための予算を盛り込んでいるところです。
- ・ また、体育の授業で動画を観たり、その他合同授業や発表会ができるよう、学校から体育館のW i - F i 整備の要望がきています。こちらも来年度に予算要求しており、明日の市長査定で必要性をしっかりと説明したいと思います。
- ・ 同じページの一番下「幼保小の架け橋期のカリキュラム」に関してですが、田中指導主事が幼保小の接続のためのカリキュラムづくりをしています。来年度には全ての学校で作れるよう進めていきたいということですので、そのようなことを書かせていただいています。
- ・ 4ページ下の基本目標2、郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進は大きくは変わっておりません。
- ・ 5ページの2段落目「課題解決型職場体験活動」については、受入先となる事業所の拡大や探究的な学習の質の向上に一生懸命取り組んでいるところです。受入先につきましては、旅館とかだけでなく新たに佐渡に入ってきているI T企業さんにも、こちらの事業を理解してもらい、協力してくれる事業所を拡大しているところです。単に活動して終わりではなく、学校カリキュラムの単元の中で、この活動をどのように位置づけていくのか、研修の内容が充実したものとなるよう、引き続きしっかりと取り組んでいきたいと考えております。
- ・ また、社会教育課で今年度企画した高校生と地域の大人の「対話の場」ですが、初めての実施でしたが、参加者からは佐渡で就職することを考える良い機会になった等、好評でした。来年度以降は小・中・高としっかり体系づけたキャリア教育というものができたらいいと思います。
- ・ その下のA L TやS E Aのところですが、今年度から新たにS E Aに来ていただきましたしA L Tは充実を図りました。特にS E Aについては試

	行錯誤しながらですが、来年度より効果的な活用を進めていきたいと考えております。 ・ 基本目標 3 安心・安全な学校づくりですが、6 ページの一番上をご覧ください。今年度から実証授業として1人1台タブレットのアプリを使って日頃の「心の健康チェック」や健康観察を取り入れました。来年度は全ての小・中学校にこれを導入したいと思います。 ・ 今年度利用してみでの報告の機会を準備していますが、使ってみて良かったという声が多かったという話を受けております。毎朝アプリで例えばニコニコしている顔、困っている顔、怒っている顔、泣いている顔など、その時の自分の気持ちに近い顔を選ぶのですが、不登校の子どもとなかなか上手くコミュニケーションが取れていないと感じている家庭でも、このアプリの導入をきっかけに子どもが朝、反応するようになり、新しいコミュニケーションの一つの方法ができるのではないかという声もありますので、来年度も取り組めれば良いと思います。 ・ この心の健康チェックですが、以前はこちらでエクセル表を用いて集計していたため、集計結果に時間がかかっていましたが、アプリの利用で集計結果が出るのに時間が短縮され、すぐ対応に活かせるという利点があります。来年度、しっかり予算を確保し、全小・中学校に導入する形で引き続き取り組んでいければと思います。 ・ この実証授業ですが、新潟県内でも佐渡市だけが行ったため、県内で注目されているのか、この報告会には新潟県からも見に来るというふうな話も出ています。 ・ 7 ページの基本目標 4 につきましては、基本的に変わっていません。学生の授業支援もそうですし、「佐渡学セミナー」や「シンポジウム」といった市民向けのイベントなど、引き続き大学と連携しながら実施していきたいという内容となっております。 ・ 基本目標 5 一人一人が学び続ける学習環境づくりも大きな変更はありませんが、9 ページのなお、から始まる一文をつけ足しております。まだ整理されていませんが、来年度は公民館と図書館で全ての施設にWi-Fiを付けられるよう予算要求をしているところで、このような趣旨で付け加えております。 ・ 基本目標 6、家庭・地域の教育力の充実というところでは、中段にCSポートフォリオについて書いてありますが、来年度この導入をしっかり進めていくということを述べております。 ・ また、「放課後子ども教室」、「地域未来塾」やCSポートフォリオを含めて学校用ガイドブックやチラシを岩崎委員にもご協力いただいて作成しているところですが、合同運動会、合同文化祭、及び合同防火訓練はそういった地域の特色や課題に応じた活動の充実を図っていく内容にしております。 ・ 一番下の「地域未来塾」ですが、この取り組みをさらに進めることで学
--	--

・香遠教育長 ・各課長 ・香遠教育長	校や授業以外でも学べる機会を充実させていくという内容にしています。主な変更点につきましては以上です。 ・ 各課の課長から補足することはありますか。 ・ ありません。 ・ はい。本日この場での配布ということもあって、この後少し読む時間を設けますので、率直なご感想をいただければと思います。
・香遠教育長 ・岩崎委員	【委員黙読する】 ・ 岩崎委員。 ・ すみません。3ページのところの下段で、併せて、大学生とオンラインでつながり学習支援や進路相談が行える「地域未来塾」等の取組をとっているところですが、これ進路指導と書いてありますが、大学生と進路指導ということなのかどうか。
・後藤委員 ・岩崎委員	・ 進路相談…。 ・ あ、進路相談。進路相談ができるということですか。そこら辺が曖昧かなというのがあって。
・鈴木教育次長	・ メインは学習支援ではありますが、地域未来塾の中で大学生が大学で取り組んでいることや、自分の将来の目標等を語ったりする機会もあるということで、進路相談という言葉も入れています。単なる学習支援だけでは寂しいという考えから含めたのですが、他のアイディアがありましたら、教えていただきたいと思います。
・瀧川委員	・ 私はこの進路相談っていうざっくりとした、言葉でいいと思います。1年終わった後に大学生が体験に参加してみてというコメントを去年、出してくれましたね。あれは回覧板で報告していただいたりしているので、こんなことしてるのかとか、聞けるタイミングがある形で、この言葉で私は問題ないと思います。
・鈴木教育次長 ・市橋社会教育課長	・ あるいは悩み相談といった書き方もできるかと思います。 ・ これは女子大学生の話から来ているのですが、なぜ大学に進学したのか、大学とはどういうところなのかといったことも話してくれていて、それが高校生に考えるという機会を与えてくれていることから、この一つの道を示してくれる、導いてくれるというきっかけとして、進路相談という言葉も入れました。
・鈴木教育次長 ・岩崎委員	・ 進路のお悩み相談とかとも言えるでしょうか。確かに、かしこまった表現になっている気もします。 ・ 何かこう大学生が上に立って、進路相談をしているというような私はイメージを受け取ったのですが、すみません。
・市橋社会教育課長 ・岩崎委員	・ これは一つの案です。 ・ そうですね。少し言葉がかたいかなって感じは何となくしましたが、問題なければ別にいいです。
・香遠教育長	・ この地域未来塾は本当に意義のある事業だと思っていますが、参加者が

	まだ私が期待するほどいないことは残念に思っています。この文書にも書かれてある通り、拡充していきたいと思っています。そのためにはどうしたら良いのか、事務局から案を練って委員の皆様にご意見をいただきたいと思っています。
・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 ・ 岩崎委員	・ すみません。いいですか。 ・ 何かあれば。 ・ いいですか。すみません。中学生の保護者の方の声ですと、今3年生対象なのですが、もう少し広げてもらった方がという声がけっこう多くて、もう2年生のうちからやりたいという保護者の方、やらせたいと言う方もいたりとかってというのは聞きました。1年生だとまだ早いと思いますが。
・ 瀧川委員	・ 進学希望を持つ息子たちを見ていると、中学2年生の夏ぐらいから意識し始めて、逆に3年生になってからだと心の余裕がちょっとなくて、参加しようかなと思いにくい。
・ 鈴木教育次長	・ 現在は、中学校3年生のしかも秋からのスタートとなっています。事務局では、せめて夏からのスタートにし、次に中学校2年生からのスタートにするといった段階的に拡充していくのが良いと考えております。
・ 市橋社会教育課長	・ その時期になった理由ですが、生徒の学力向上に社会教育課も何か支援できないかと考えた時に、塾に似たことを放課後するという事を考えました。ただ、民間の塾があることも鑑み、通常の塾と違うことを明確にするために、部活動が終わった後から高校受験までの期間のみ提供することを念頭に始めました。この点については、引き続き考えていきたいと思っています。
・ 岩崎委員	・ あと、もう一つすみません。例えば、何か中学生だと、みんながやっているからやるとか、先輩、この優秀な先輩がやっているからやりたいとか、何かそういうのって選ぶ、決断する要素であると思いますが、例えば卒業して、高校受かった卒業生に、こういうのをやって良かったよ、未来塾をやって良かったよという、何かそういうのをバンッと公表するとか、そういうものがあると。うちの子もやっていますが、やはりすごく楽しい。
・ 香遠教育長	・ そういう声がほしいですね。うん。岩崎委員のお子さんの感想とかいただけると良いかもしれませんね。
・ 岩崎委員	・ いや、うちはもう優秀ではないからあれなんですけど、すごく楽しいと、やれば楽しいと言っているのです。そういうのがあるといいかなと思います。
・ 鈴木教育次長	・ 楽しいという思いが一番大切ですよ。
・ 香遠教育長	・ 声を拾って集めて発信しませんか。ありがとうございます。他にこれに関してご意見等ありますか。
・ 香遠教育長 ・ 加藤委員	・ 基本目標1で、他にご意見ありますか。加藤委員。 ・ 全体に関わってなのですが、今6年度の方針が、今日手元にないので直接、比較ができないのですが、来年度から市長部局に移るスポーツ・文化がいくつかあって、博物館やジオパークが入っているんですけど、昨年度の方針に比べて、今回作るにあたって、その市長部局に移ることによって

	削ったものとか、あと新たに加えたとか、何かパーッと見た時に例えば、2ページの下から5行目。「世界文化遺産をはじめとする多様な学習機会の充実を関係部署等と連携して」ということで先ほどスポーツやジオという説明がありました。あと5ページの1行目と2行目、「世界文化遺産である「佐渡島の金山」、佐渡おけさ、朱鷺やジオパークなど、関係部署や関係機関と連携」、多分これは意図的に入れていきたくったんだらうと思いますが、博物館関係、社会教育課関係って、そこら辺の博物館とかあるものを多分、スパーンっと省いたのかなって。その辺こう変わった時に、どの辺がこう、別に変ったことで、ここが直っているのは、基本的にいいと思うし、また、そのことが来年度スムーズにいろんな市長部局に移っても、ここに残った、ジオなんか教育関係は残るわけだし、そういうものがスムーズに繋がっていくといいなと思う。
・鈴木教育次長	基本目標2の郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進のところは、ジオパークについては出前授業や佐渡ジオクラブなど、博物館についてもジュニア学芸員養成講座等、もっと踏み込んで書いてありました。そういった個別の記述をなくし、全体を通して連携を図っていきますという表現にした点が大きく変わったところです。ただ、ここに何か残る書き方をした方がよいというご意見であれば、内容を検討したいと思います。ただ実施するのは市長部局ですので、それでも続けて欲しいというメッセージを込めるということであれば、内容を再検討します。
・加藤委員	その教育行政方針なんで、社会教育の件も含めて、行政の方針って市長部局に移行したことで学校教育課、社会教育課であったものが市長部局に行ったものがあるとそれがポツとこう、どこいったんだみたいにならないように繋がっていけばいいな。市長部局でもいろんな方針やそういうのがあると、総合計画なりあると思いますが、これが上手く、必ず文章化してなければいけないわけではありませんが、変わった時、どこが変わったのかが、特に行政サイドが分かっている、いろんなところでそれが最初変わった時に、ここ変わったからねということを伝えられると、多分、学校とか、いろんなところが、そういう意図でこうなったのかって、こう対応しやすくなるかなって思う。移ったところが、ポカッと穴が開かないようにしたい。
・鈴木教育次長	もちろん、市長が市政方針を作成するので、そこでも書かれているか、我々もしっかり確認していきたいと思います。加藤委員がおっしゃる通り、以前あった内容がなくなっていると、やらなくてもいいと捉えられる可能性もあるので、我々が意図していない受け取り方をされないためにも何らかの言及があった方がよいと思いますので、して欲しいことを踏まえて再度見直しをしたいと思います。またお気づきの点があればご意見をいただきたいと思います。
・香遠教育長	もし、令和6年度の行政方針の資料があるなら、加藤委員にお渡しして、比較していただいてはどうでしょうか。

・加藤委員 ・香遠教育長 ・瀧川委員 ・香遠教育長 ・瀧川委員	・ 家にはあるのですが、ここに持ってきていません。 ・ 冒頭、柳澤課長から説明があったように、今日が最終期限ではなく、お時間のある時にお気づきの点がありましたら、また聞かせてください。 ・ 一つだけいいですか。 ・ はい。 ・ 今の件で、私も心の中で引っかかっていたのが、博物館事業の一つとして、その課題解決型の職場体験、中学校で博物館へ行きますね。そこと子どもの学芸員の育成は小学校から始まって、それを続けてた子が中学校で職場体験で選んだ時の何かその辺のキャリア、将来こういった人間になりたいとか、こういったことに関わっていきたいという、ここが連携するといいなと思っています。この博物館事業の子ども達の学びの場を残していただけるのであれば、中学校のキャリア教育と上手く繋げて、その辺の連携をこと細かくは消えてしまっていますが、中学校のキャリア教育の問題解決型では必ず、いつも博物館で実習行っている生徒を見るので、上手く繋げていってもらいたいと思います。
・ 香遠教育長 ・ 後藤委員	・ 基本目標 1、2 のところで、他に何かありますか。後藤委員。 ・ 基本目標 2 の、5 ページの真ん中から下の方の、S E A の効果的な活用というところですが、文章としてというのではなく、S E A の方達が佐渡へ佐渡市に入ってきて来てくださって、半年が過ぎたと思うのですが、先ほどお話にもありました試行錯誤している、で、効果的な活用をこれからも求めていきたいというお話だったと思いますが、なかなか、有効にというところとあれですが、活用しきれていない部分が特にスポーツの面で、保育園とかでの交流の時間は取れていて、とてもいいと思うのですが、実際、中学生のスポーツ指導とかという面では、もう少し上手く時間を組んで各学校と連携して活用していけたら、ご本人達も、やる気持ちというか、充実した中で仕事ができるのではないかと。私はバドミントン側でしか見てなくて、バスケットとか野球の方は、あの方たちの意見がなかなか分からないのですが。はい。効果的な活用をいろいろ考えてくださっているとは思いますが、ぜひお願いしたいなと思います。
・ 鈴木教育次長	・ ありがとうございます。佐渡市で通訳の業務を担っている C I R が観光課にいますが、その人と A L T と S E A 合同の英語の授業が、この前、佐和田中学校で企画されました。海外からの人が何人か授業に来るというのはとても興味深い、良い取り組みだと感じました。その A L T と S E A の活動状況ですが、今おっしゃった通り、保育園では園児との交流が見られ、中学校でも部活に少しずつ入ってきてもらっていますが、残念ながら小学校ではまだ交流の機会が少ないと感じています。そのため、校長会で源田指導主事から話してもらいましたし、私からも体育や体験活動等の機会に呼ぶことができることをお伝えし、少しずつ活用する機会を増やしていけたらと思います。ありがとうございました。
・ 後藤委員	・ はい。あのすみません。

・香遠教育長 ・後藤委員	・ どうぞ。 ・ 厳しいことを言うようですが、学校の方で、校長先生サイドで、うちの学校は結構ですとおっしゃる先生もいらっしゃるようで、校長先生がストップしてしまうと、なかなか子ども達の方まで、その交流の時間が持てないと思うのですが、ストップされた校長先生には、ぜひ、その時間をとってみてくださいというお話もしていただけると。はい。すみません。以上です。
・香遠教育長 ・加藤委員 ・香遠教育長 ・加藤委員	・ はい。分かりました。ありがとうございます。次に、基本目標3に移ります。何かありますか。 ・ はい。 ・ 加藤委員。 ・ 6ページの4行目。校内教育支援センターの設置等によるというところで、校内教育支援センターの考え方とか動きとか、国は学校内に作ると言っていますが、どうしてもセンターというと、建物があつてとかいうイメージ。校内なので、校内の引き受け先が保健室や空き教室などでどのように過ごすのか、その辺のトライみたいなのは共通に今できて、少しずつ動き出しているのですか。
・渡邊学校教育課長	・ センターというと仰々しいイメージですが、例えば生徒が不登校にならないよう利用する空き教室などをセンターという言葉で示したりしています。 ・ 私が学校教育課に着任した時、放送室に入っている子どもがいますと聞きました。教室には行けないが、保健室や放送室なら行けるという子どもがいて、その子が行ける部屋を授業や勉強に利用することで不登校等が未然に防げるのであれば、空き部屋をどんどん活用していこうと考えています。また、そのように国も推進しています。 ・ 今年度は、W i - F i を付けるよう準備をし、できた学校から随時そういった教室を利用していく。来年度は9校くらいがW i - F i 整備をします。それをやることで、全ての学校で空き部屋利用が可能となります。
・加藤委員	・ はい。私これ国から文言が出た時に、すごい仰々しいなあと思って。各学校は今まで工夫して、いろんな空き教室を使って、放送室もちょっと使っていましたし、それは今までもやっていたことなのですが、上手に子ども達がいれる居場所が作ればいいのだろうけど。なかなかうまく機能していて、それが校内教育支援センターだって捉えて動いていれば問題はないのかなと。どうしても言葉がボーンと出てくると、なんだこれは、みたいなね。
・鈴木教育次長	・ 無理に書く必要はないかもしれないですね。おっしゃった通り、空き教室を活用した生徒一人一人の居場所づくりといった表現でもいいかと思います。改めて読んでみると、W i - F i を付けたからそれが校内教育支援センターなのかというと、それも疑問に思いますし。
・加藤委員	・ 定着してくれば、これがポンっと入ってきても全然、問題はないと思う。

・渡邊学校教育課長	・ 国もこういった形で予算をつける方向で動いています。来年度は、校内教育支援センターの支援員も補助するようです。少しずつこちらも手厚くなっていると感じます。
・ 香遠教育長 ・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 ・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 ・ 岩崎委員	・ 基本目標 3 で他にお気づきの点等ありますか。 ・ すみません。いいですか。 ・ 岩崎委員。 ・ 時間大丈夫ですか。 ・ はい、どうぞ。 ・ すみません。7 ページの最後の方に、防災教育とか防災教室というところがありますが、これ実際に、私達の地域でやったのですが、防災士さん、県の防災士さんがいて、その方をお呼びして、とても有効な防災教室をやったことがあるのですが、そういうものも、これから考えていった方がいいのかなと思ったりもしました。警察や消防とありますが、警察がきて防災教育って、そんなにあるかなと。
・ 市橋社会教育課長	・ 過去の実績では、気象庁の職員から少し専門的なお話をしてもらったり、外部から講師を招いて地域や地形を基にした地震や津波の危険性を説明してもらったり、また、最近では地震が多いことから、ジオパークの職員が地層を考慮に入れた地震のメカニズムを子ども達に説明したりといった活動もしています。ジオパークでは地震は自分たちの関連分野と捉えているので、防災教育については続けていきたいと思います。
・ 岩崎委員 ・ 渡邊学校教育課長 ・ 岩崎委員 ・ 渡邊学校教育課長 ・ 岩崎委員 ・ 鈴木教育次長 ・ 岩崎委員	・ はい。ありがとうございます。 ・ すみません。確かに、自主防災組織で防災士の養成をしているので、もしかすると地域にいらっしゃるかもしれません。 ・ そうですね。そういう方もいるってことで。はい。 ・ 100 人くらい養成したいと動いています。私も登録しています。 ・ そうなんですか。ぜひ、そういう方を利用していただけると助かります。 ・ その点、付け加えられる箇所、地域防災士など地域の専門家など。 ・ もう、そういう時代になってきているので、やはり具体的に言った方がいいかなと思います。
・ 香遠教育長	・ 私からの要望です。全ての小・中学校で自己肯定感を高める取り組みとして、いじめ・不登校のない学校づくりを今年度もそうですが、新年度も取り組んでいただくことになっています。その自己肯定感を高める、自己有用感を高める、といった言葉をどこかに盛り込めたらと思っています。 ・ 基本目標 4、5、6 はそれほど大きく変わっていないので、まとめてご意見伺いたいと思います。私が気づいた点としては、基本目標 6 で、地域未来塾という言葉が 2 か所も出てきていますが、それがしつこくないだろうかと感じています。
・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長	・ あの…。 ・ 岩崎委員。

・岩崎委員 ・鈴木教育次長 ・岩崎委員 ・鈴木教育次長 ・岩崎委員 ・加藤委員 ・岩崎委員 ・瀧川委員 ・鈴木教育次長 ・香遠教育長 ・若林教育総務課長補佐 ・香遠教育長 ・若林教育総務課長補佐 ・加藤委員 ・若林教育総務課長補佐 ・香遠教育長 ・市橋社会教育課長 ・香遠教育長 ・市橋社会教育課長	・ 下の段のところの地域未来塾は学習支援じゃ、ざっくりですかね。ざっくり過ぎますか。 ・ いいと思います。 ・ もし被るのでしたら。 ・ 私は前段のコミュニティスクールの文脈に地域未来塾が表れることに違和感があります。この前段の地域未来塾は必要ないのではないのでしょうか。 ・ いらないですね。 ・ 下の方が大学生等を活用したとか。 ・ 私いらないと思う。 ・ 下の方をとって、上をカットしても。 ・ そうですね。「放課後子ども教室」はじめ、としたり。 ・ 今日はそんなところでよろしいでしょうか。他にお気づきの点がありましたら、9日までにお聞かせください。次回の定例会でもこのような協議の時間を設けますので、よろしくお願いします。 ・ 次に、報告事項3「その他」事務局からありますか。 ・ すみません。 ・ 若林補佐。 ・ 今年後、相川地区と新穂地区の小学校が再編統合することが決まりました。来年度に閉校式が予定されていますが、その日程が決まりましたのでご報告いたします。 ・ 日にち順に、11月1日（土）が七浦小学校、11月15日（土）が行谷小学校、11月22日（土）が金泉小学校、11月29日（土）が相川小学校です。いずれも午前中です。 ・ 毎週だね。午前中。やはり11月なんだ。 ・ 最後に、12月5日（金）が新穂小学校です。こちらは午後になります。よろしくお願いいたします。 ・ その他、何かありますか。 ・ すみません。ちょっといいですか。 ・ 市橋課長。 ・ すみません。皆様のお手元に今年度の親子人形芝居教室の実績があると思います。この教室については、文部科学省から全事業で予算をいただきました。また、10月には文部科学省の職員が視察に来てくださいました。忙しい時期にありがとうございました。視察の際には、人形芝居を習っているALTのジョセフさんが教える機会もあり、それを見た視察の方も感動していらっしゃいました。また、常盤座の方も指導してくれているのですが、去年から通っている小学6年生の女の子が下の子を教えている様子を実際に見て、それが素晴らしいと褒めてくださいました。教室の発表もあり、そういった実績が載せてあります。できれば来年も是非実施したい
---	--

・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長	と考えております。 ・ もう1枚はジオパークフォーラムについてです。2月24日に小学生のジオクラブの発表や東京大学の学生たちの研究発表など盛りだくさんです。ご都合がつくようでしたら、是非いらしてください。よろしくお願いいたします。以上です。 ・ はい。他にありますか。 ・ 報告なし。 ・ 他にはないようですので、日程第3、報告事項はこれで終了いたします。 ・ 日程第4「次回会議の開催日」について、事務局の説明を求めます。 【次回の会議は、2月19日（水）に定例会を開催したい旨を説明した。】 ・ 以上で令和7年第1回佐渡市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。 午後3時7分終了
---	---